

理事長 小見山 道
社会連携・広報委員会委員長 羽毛田 匡

News Letter No. 25

今回は 2025 年 9 月 27 日（土）～28 日（日）に行われた第 8 回アジア顎関節学会について、社会医療法人恵佑会 札幌病院矯正歯科（部長）の梶井貴史先生にご報告させていただきます。

第 8 回アジア顎関節学会

2025 年 9 月 27 日（土）～28 日（日）

SMX コンベンション・センター（フィリピン・マニラ）で開催

フィリピンのマニラで開催された、第 8 回アジア顎関節学会に参加した。当学術大会は 2 年に一度、韓国、日本、中国、フィリピンの持ち回りで開催されている。第 7 回学会は 2 年前の 2023 年に中国の北京で開催され、私はこの第 7 回学会にも参加して本学会ニュースレターで報告した。

学会には、ホストであるフィリピンからの大勢の参加者に加え、韓国からの参加者が 10 名ほどであった。日本からの参加者は特別講演者である小見山道 理事長と私の 2 名のみと、少数の一行であった。（大井一浩理事も参加予定であったが、体調不良のため欠席となった）



写真 1 第 8 回アジア顎関節学会開会式での集合写真

今回、日本と韓国からの参加者が少なかった一因に、参加案内の通知が遅めであったことが挙げられる。案内が本学会に届いたのは 6 月末であり、開催日までには 3 か月間しかなく、両国の学会員においては日程に都合をつけることが難しかったかと推察される。

また、驚いたことに、中国からの参加予定者が会場に不在であった。フィリピンと中国との領有権の問題などが理由と推察されるが、既にプログラムに講演者としてクレジットされているにも関わらず講演をキャンセルしてしまうのか、フィリピンには来られないのか、と複雑な印象を抱いた。



写真 2 学会運営のフィリピンの先生方

一方、当学術大会開催期間を通じて感じたことは、フィリピンの先生方のほとんどが女性である、という点であった。東南アジアで開催される会議で散見される光景ではあるが、改めて、歯科医師という職業は女性に非常に向いていることを認識させられた。

学会プログラムは、特別講演とポスターセッションの 2 本立てで行われた。一般口演が無かったことがやや物足りなかったが、講演における質疑応答が非常に活発だったことが印象的であった。



写真 3 小見山理事長の特別講演の様子

本学会理事長である小見山先生の特別講演においても、座長から、さらには会場から多数の質問があり、セッションは盛況なものとなった。



前回の第 7 回アジア顎関節学会では、ポスター発表として e-poster セッションが行われたが、今回の第 8 回学会では通常のポスターセッションが行われた。紙のポスターでも、じっくり読むことが可能な点、質疑応答をしやすい点など、利点は多くあり、活発な質疑が行われていた。

また、事前にアナウンスは無かったが、ポスター優秀賞が用意されており、私が受賞した。学術大会で受賞するのは、約 20 年ぶりであり、年齢を考えると恥ずかしい気もしたが、幾つになっても受賞するというのは嬉しいものであった。

写真4 ポスター会場の様子

会期中には、韓国、日本、中国（欠席）、フィリピンの4か国による International Committee Meeting（学会幹事会）が開催された。日本顎関節学会からは小見山理事長に加え、私も出席させていただいた。

会では、次回の第9回アジア顎関節学会が韓国で2年後の2027年に開催されること、その後の学会が日本、中国、フィリピンの順の持ち回りで開催されること、現在 Chairman を務められている Dr. Hoon Chung（韓国）が当面 Chair を継続することなどが議決された。



写真5 International Committee Meetingの様子

そして、夜には「Cultural Fellowship Night」と銘打った Reception が開催された。「National Costume」というドレスコードであったので、小見山理事長が法被を用意してくださっていた。私もこれを羽織って出席した。

次ページの写真をご覧ください。お分かりになると思われるが、各国の先生方が思い思いの衣装を身に纏い、この上なく楽しい夜を過ごすことができた。





写真 6 Reception（懇親会）

次回の第9回アジア顎関節学会は、2年後の2027年（日程は未定）に韓国で開催される。私はもちろんまた参加しようと考えているが、本会員の先生方にも積極的に参加していただき、日本の臨床・研究のアピールをしていただき、そして海外の先生方と積極的に交わり色々な知見を吸収していただければ幸いです。